

広報広聴常任委員会会議録

- 1 日 時 令和4年2月18日(金)
11時15分開会 11時41分閉会
- 2 会議場所 役場3階第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：川上 均 副委員長：中河つる子
委 員：深沼達生、佐藤幸一、奥秋康子、加来良明
議 長：桜井崇裕
- 4 事務局 事務局長：田本尚彦、次長兼係長：宇都宮学、主事：長谷川真弓
- 5 説明員 なし
- 6 議 件

(1) 議会だよりの編集と発行について
(2) その他
・次回の委員会
- 7 会議録 別紙のとおり

(1) 議会だよりの編集と発行について

委員長（川上均）：皆さん、臨時議会の後、大変お忙しい中、集まりいただきありがとうございます。只今より広報広聴常任委員会を開催する。

今回、集まっていたのは、議会だよりの編集と発行について、議会モニター会議で指摘があった表紙写真と町民インタビューの部分について、令和4年度発行の取り組み方を協議いただき、3月定例会後の169号の編集から対応していきたいと思う。前回から引き続き、この間、皆さんに時間をとっていただき年度テーマの設定等を含めてどうするかを考えていただいていたと思っている。今日はその中身について議論させていただきたいと思う。順番に聞いてみたほうがいいと思うので、年度テーマ、写真とインタビューの関係について、考えあれば出していただきたいと思う。深沼委員。

深沼委員：写真の表紙なのであるが、今までは子ども達を中心に表紙作りをしてきた部分、ここ3年間はそういう形でやってきたのであるが、何が良いのか考えていたのであるが、清水町で働いている現場とかそういった様子とかはどうなのかと思っている。町民インタビューに関しては、前回も意見出ていたように議会に傍聴に来てくれている方々からインタビューを議会に対して傍聴してどんなふうな思いを感じたか、また、いろいろな意見、町政や議会に対しての思いがあればそういった部分のインタビューをしてはどうかと思う。

委員長：写真については働いている人の姿、そして、インタビューについては議会傍聴人の意見を聞いたらいかがかということである。続いて奥秋委員。

奥秋委員：なかなか表紙の部分もテーマを決めるというのは難しいと思うが、それぞれ個々にお任せするというのも1つの方法かなと私も考えてみていた。今いろいろな授業や何かも中止になっているし、子ども以外となるとその時の季節の状況とかもあるから。今ここでと言っても答えは難しいかなと思う。個人に任せるという方法も1つかなと思う。インタビューのほうはこの間お話ししたが、やはり広報であるので、議会に傍聴に来てくれた方の中から誰かにお願いをするという方法もいいのかと思う。原稿を書いていただくとか、その日の議会の感想とかもいいのかかなと思うが。

委員長：只今、奥秋委員からは、写真についてはそれぞれ個人に任せていいのではないかと。インタビューについては、深沼委員と同じように傍聴人の意見を取り入れたらいいのではないかとこの事である。次、加来委員。

加来委員：写真については、この間、工場とか清水の産業とか言ったのであるが、事務局の資料を見せていただいて、子ども中心になっているのであるが、基本的に前回にも話が出たようにまず見てもらう、手に取ってもらうという入り口として重要なので、抽象的かもしれないが、町の話題その時々話題、大人でも子どもでも何かやっていることを、まず、表紙の写真の担当の方が、まず、選択してくれればいいのかと思っている。町民インタビューについては、今言われたように、傍聴者の方、若しくは、傍聴者の中にモニターになってくれている方も多いため、そういう人達に、議会についてインタビューをしていくということでもいいのではないかと。以上である。

委員長：只今、加来委員より、写真は町の話題についてその時々話題について写真を載せたらいいのではないかと。インタビューについては、モニターの方も来ていると思うので、その方も含めて意見を聞いたらいかがかということを出された。続いて、佐藤委員。

佐藤委員：消防なのだが、広域消防となり119番は十勝消防局に通じており、十勝消防局では、全出動ということになっている。これについては、今までは清水の119番に入ると署員が先に出て、

ひどければ団員が出るというシステムで、消防団員が全回出るということにはなかった。消防団の大変さをお聞きしたいと思っているのであるが、写真については、それに関連した消防署の消防車を入れたらいいのではないかと気がしている。

委員長：それは、次回の部分ということか、それとも、残り4号あるが、残り4号の中で消防中心にということによろしいか。

佐藤委員：今回で良い。

委員長：インタビューについてはいかがか。

佐藤委員：インタビューも消防で。消防署員、団員の記事について。

委員長：佐藤委員からは、次回の部分になると思うが、残り4号全部ではなくて、写真とインタビューについては、消防を扱ったらいいかということで出された。中河委員はいかがか。

中河委員：子どもばかりにも限らず、先程どなたからか出ていた町の話、大人でも子どもでも働いている人でも、その中から、今の話題を担当の人が考えたのを発表してもらってやればいいのかと思っている。インタビューは、議会の傍聴に来た人のそういうのもいいかなと思う。

委員長：中河委員からは、写真については町の話、インタビューについては、議会の傍聴の方の意見ということで出された。

私の方から、先程、加来委員からもあったように写真というのは、今回の最初の子どものテーマというのでも視察とかいろいろ、今までコンクールに入賞した議会だよりを含めてとっつきやすいということで子ども中心に扱っている所が多いということで、子ども中心にやっていたということである。子どもが一番分かりやすいのかなという部分で、良かったと思うが、そういう部分では、子どもというよりは残り4回であるので、それぞれの個々の委員に任せてもいいのではないかと僕は思っている。インタビューについては、やはり、いろいろな町民の人の意見も聞くということではそれぞれ身近な人、担当4名になると思うので、その人のそれぞれ委員の個人的な繋がりの中でインタビューしてもどうかと僕は思っている。皆さんの意見が出そろったので、少し議論していただきたいと思う。町の話なかなか抽象的で難しいと、因みに残りの部分でいくと、次号169号は写真が川上委員、インタビューは佐藤委員、170号、171号、172号、写真は奥秋委員、中河委員、加来委員、インタビューについては、170号が深沼委員、171号が加来委員、172号が中河委員ということになっている。4回である。表紙の写真、次号であるが、なかなか町の話といっても、例えばどのようなことがあるのか。あったら出していただきたいと思うが、いかがか。加来委員。

加来委員：固定観念をつくらないで、先入観をつくらないで担当者が、まずは、佐藤委員が次号には、消防関連で消防車を載せたいと。子どもになるか分からないけれども、そういうのでいいのではないか。今ここで8月の話題はなのだとか、そういう議論までは必要ないのかと。そこは、今までは子ども中心にやってきたけれども、そこからはそれに囚われなくて、先程意見もあったように、大人だろうがなんだろうが、自分が感じるものを選択した上で提案されたものを委員会で議論していければいいのではないか。

委員長：要するにそれぞれの委員の個人で判断して載せるということでもいいということか。議論は必要であるが、町の話になるかどうかは、それぞれの委員の考え方にもよるので、それぞれに任せるということでよいか。

奥秋委員：佐藤委員が言ったように、消防車の関係を載せたいと。もしそこに、春先ならいろいろな火災の予防週間とかで勉強会みたいな保育所とか子ども達がするかもしれないけれども。そういうのも入れて、表紙いっぱい消防自動車と子どもを、1面飾るような感じで載せてもいいのかなと思う。

委員長：例えば、消防であればそういった形で。いずれにしてもそれぞれの個々の委員に任せるような形で、写真についてはよろしいか。

(よいとの声あり)

委員長：続いて、インタビューであるが、多く皆さんから出された意見は、議会傍聴人の方々から意見を聞いたかどうかということである。なかなか決まった人しか来ないという部分も確かにあると思う。そういう部分では、ちょっと偏ってしまうのかなという部分と、それぞれ意見をいろいろ持っている方が確かにあるが、あまり個人の意見に引っ張られるという部分もどうなのかと。今までの議会モニターだとか報告会の中で出された意見の中でちょっとあったので、そういう部分ではどうなのかと思うが、皆さんはいかがか。

加来委員：そういう先入観を持たないで、議会を見に来てくれている人が身近で感じているし、また、ネットを通して見てくれている人もいるかもしれないけれども、例えばネットで見ている人の意見も聞きたいというのであれば募集しなければいけないし、1番多く来ている人達が3年間我々の議会を見てどう思うかということ町民のインタビューとして発信していくことは、大事ではないか。個人の意見が偏っているとかそういうことではないと思う。それぞれの皆の考えがあるのが議会だと思うし、その中の多くの意見の1つとして町民に発信することは決して悪いことではないと思う。

委員長：議会の傍聴人の方ということで、例えばそういう形で決めた時に、来ていた人の誰を選ぶかということは、それぞれの担当委員で決めてもらうことでよろしいということか。中河委員。

中河委員：先程、傍聴人と自分でも言ったが、今、YouTube で見ている人多い。YouTube を聞いたという意見も聞くのであるが、見ている人の意見でもいい気がする。いろいろな人が見ている。

委員長：ただ、YouTube で見ている人をどうやって選ぶのかは難しい。

中河委員：担当になった人が、全部ではなくて。

委員長：現実的に難しいのではないかと思います。誰がYouTube で見ているのか。

中河委員：私は、YouTube で見たという話は結構聞く。議会を見ていたと、YouTube になってから見ている人は多いという気がする。それぞれの個人の担当になった人が、そういう人もいれば、そういう人の意見も入れられるかなと。

委員長：中河委員から YouTube で見ている人も多いので、そういう人の意見も取り入れたらいいのではということである。事務局のほうはどうか。特に何かあれば。

事務局長：今、中河委員から話をいただいた部分は、日常の会話の中で YouTube を見ている、こういう印象を持ったという方がいるという話だと思う。YouTube を視聴している方からランダムにピックアップするというのは、難しいとは思いますが。日常の中で、議会に対して目を向けて傍聴に来るだけでなく、いろいろな方法で議会を見て聞いている方が分かるのであれば、担当の範囲でそういった人を傍聴者に変えてインタビューに取材してはどうかという話で聞いていた。

委員長：あくまでも、それぞれの担当委員がその都度決めていただいてやるという形で、議会傍聴人に限らずということで、そういうくくりでよいか。加来委員。

加来委員：よろしい。ただ、議会についてというインタビューの根本だけは、ずれないようにインタビューの相手は傍聴人であろうが、YouTube を見た人であろうがよいと思う。YouTube で部分的な部分しか見ていない人はできるだけ避けて、より長い時間見ている人を選択した上で、YouTube を見た上での議会に対する感想・意見はいただいてもいいのではないかと思います。

委員長：分かった。なかなか難しい面もあるかと思うが、広い部分で、傍聴人に限らず、YouTube で見た人、それぞれ含めた中で担当委員に任せて、あとは常任委員会の中でそれについて議論していただくということでよいか。

(よいという声あり)

委員長：今回、テーマを決めてやるという形で議論いただいたが、写真については、町の問題をメインにしなが、それぞれの委員に任せてやっていくということと、インタビューについても、議会傍聴人、YouTube を見た人含めて、議会に対して意見のある方を、それぞれの担当委員がひろっていただいてインタビューに載せていくという形で進めたいと思う。テーマについては、議

会についての意見をいただくということで、そういう形で残り4号については進める形でよい
か。

(よいという声あり)

委員長：そのような形でよろしく願います。

(2) その他

・次回の委員会

委員長：次回、3月定例会最終日3月23日を予定している。

確認であるが169号、5月発行の議会だよりについては、表紙は川上委員、町民インタビューは佐藤委員担当ということである。よろしく願います。

その他、皆さんの方から協議することはないか。事務局。

事務局長：1点、事務局から報告をさせていただく。以前この場で、議会モニター会議で出されていた再質問についても内容を深めてという意見があり、議会の答弁の当日答弁要旨を質問者本人に渡して、編集の担当者については、議会が終わった後に答弁要旨を貰っているというサイクルであったが、その日の質疑が始まる前に貰えないだろうかということで、協議をしてほしいということを受けて、議会運営委員会の中でそれについての対応・協議をしていくということで確認がとれた。事務局の方で、事務レベルというか、副町長と取り扱いについて話をしたが、こちらから答弁要旨を渡しているの、やみくもに拡散する部分でなければ議会だよりを編集する担当の方に朝、写しとして渡しても差し支えないという回答をいただいた。3月の一般質問からそういった形で、答弁をまとめる担当の方にも朝の段階で答弁要旨を渡すということが可能になったので報告とする。

委員長：担当の方について、答弁要旨も参考に見せていただくということで、問題はないということ、よろしいということで。関連することなのであるが、話が戻るかもしれないけれども、他の議員の方から、答弁については、それぞれの質問者が答弁を作ってその内容について、常任委員会の中でそれぞれの担当の委員が協議しながら進めていってもいいのではないかとということで、話があった。そういう形の進め方も、今までは担当委員が答弁を作るという形で進めて基本的にはやっているが、そのような方法の方がいいのではないかと意見も他の議員からあった。どうであるか。ここで議論する内容でもないかもしれないが。加来委員。

加来委員：今までどおりでよいのではないかと。公平性と自分も1度答弁もらってそれを修正して委員会に出したことがあるが、偏りもあつたりするので、質問者の主観が入つたりするので、公平な立場の人間が公平に記事を書くということがいいと思う。

委員長：従来どおりということで、進めたいと思う。よろしいか。

(よろしいの声あり)

委員長：以上をもって、皆さんの方から特に何もなければ本日の常任委員会を閉めさせていただく。よろしいか。

(よいとの声あり)

委員長：以上で、広報広聴常任委員会を終了する。本日は大変、お疲れさまでした。